

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	幸手市役所	代表者名	木村 純夫
担当者部署	総合政策部政策課	連絡先電話番号	0480-43-1111
担当者役職	主事	担当者氏名	山崎 亘
住所	340-0192 埼玉県幸手市東4丁目6番8号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	6月に一般職員向け研修を実施した際に幹部職員に向けた研修を行うべきとの助言をいただき、実施する運びとなりました。実務経験を踏まえたお話をいただき幹部職員からも大変好評でした。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年7月1日	講演(実地)	有	令和5年6月9日	087K_02
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月2日	講演（実地）	13時30分	17時00分	10
				活動時間（分）	200
3-2. 派遣場所	会場名	幸手市役所	最寄駅	幸手駅	
	所在地	幸手市東4丁目6番8号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	37人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX推進に向けた幹部職員の意識醸成	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進推進するための幹部職員のデジタルマインドの醸成により、市のDX推進を加速する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今後人口減少が進む中で市役所においても人材確保が困難な状況になることが予見され、そういった状況になる前にDXを推進し業務改善する必要があること、DXを推進していくためには幹部職員が理解し積極的に取り組んでいくことが必要であることを御講義頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DX推進計画の策定及びDXを推進するにあたり、幹部職員にその必要性について理解してもらうことができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修については、今後自然体でDXを推進するにあたり幹部職員にDXの概念を理解し、必要性について認識してもらうための研修であり、幹部から積極的な質問が出るなど意識醸成に繋がった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修内容について、幹部職員からも好意的な意見が多数あった。DX推進に当たりとても有意義なものになったと考えられる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

